

養老先生の 七か七か 入門学



〈解剖編〉

顔のなかでも、唇はど
ても目立ちます。赤い色
が付いているからです。
さて、動物に唇はあるで
しょうか。

サルの仲間と、ヒトの
大きなちがいの一つは、
この赤い唇があるかどう
かです。サルには赤い唇
がありません。赤い唇は
ヒトだけの特徴です。

唇が赤いのは、表皮を
通して、下にある毛細血
管の血液の色が見えてい
るからです。皮膚はそん
なに赤くはありません。
でも口の中なら全体に赤
いですね。赤い唇は、口
の中が外に出てきたよう
なものだといえます。

赤い唇と書きました。
でも唇は赤いに決まって

唇 毛細血管透けて赤く

るんじゃないの。じつは
解剖学では唇のことを
「口唇」といいます。赤
い唇は、正式には「赤唇
縁」です。「赤」は構造

ではありませんね。「そ
う見えるだけ」ですから。
構造としての口唇は歯

よりも前にあるやわらか
い肉です。それはそのま
ま頬につながっていきま

す。これなら実体があり
ますね。つまり解剖がで
きます。口唇を解剖する
と、なかには脂肪や筋肉
が入っています。

魚やカエルやヘビに口

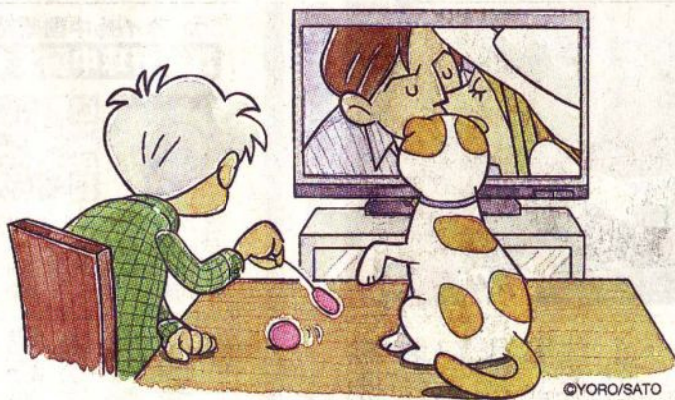
唇や頬はありません。口
唇や頬は哺乳類だけが持
っている特徴です。なぜ
でしょうか。口唇と頬が
ないと、お乳がすえない
でしょ。乳だけではあり
ません。そもそもすうと
いうことができなくなっ
てしまいます。

唇にはもう一つ大きな
特徴があります。それは
とても敏感だということ
です。つまりそこには
神経がたくさん来てい
る、ということなんです。
の中で、唇の感覚が占め
る範囲はずいぶん大きい
のです。キスというのは
不思議な習慣ですが、こ
のことと関係しているの
でしようね。

(養老孟司 解剖学者)

クリツク

毛細血管 全身に張(は)
りめぐらされた、細い血管。
血液(けつえき)は体中を循
環(じゅんかん)して、体に
必要な物と不要な物を交換
(こうかん)してくる働きを
持っている。毛細血管は、そ
れらを交換する場所であり、
別名「交換血管」ともいう。



(イラスト・佐藤学)